

○ バードウォッチング入門

1. 日時：2023. 4. 8 (土) 9:50~12:00 天気 晴れ時々通り雨
2. リーダー：O、T ききみみメンバー：1名
3. 参加者数：大人 6名 子供 2名 対象者：小学生以上
4. ねらい：バードウォッチングを通して自然の楽しさや大切さを感じてもらう。
5. 活動場所：多目的ルーム～ベランダ～管理道～水飲み広場～芝生広場～散策路①～③～東屋～センター
6. 活動内容：バードウォッチングのマナー、双眼鏡の使い方や図鑑の使い方を勉強し、野外に出て実際に野鳥を観察してもらう。

時間・場所	内 容
9:50 多目的ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介（ききみみメンバー） ・活動の流れを説明する。 ・ものさし鳥を覚えておくと便利。 ・ハシブトガラスとハシボソガラスの違いや生態について図鑑で確認する。 <ul style="list-style-type: none"> *名前の由来を知る。(写真提示) *タッチペンで鳴き声の違いを確認。 *漢字ドリル：カラスのこえはよく<u>耳</u>にする。
ベランダ	<ul style="list-style-type: none"> ・双眼鏡の使い方を説明した後、模型のヤマガラでピント合わせをしてもらう。 ・鳴き声に耳を澄ませる。 ・コゲラの巣穴を見つける。 この時、巣穴をほった木くずを外に出すコゲラを見ることができた。
水飲み広場	<ul style="list-style-type: none"> ・ハシボソガラスがマツの木の高い所で、木の枝葉で隠した巣作りを確認する。 繁殖期はできるだけ巣から離れる。(マナー) ・ロビーにあるハシボソガラスの巣を観察する。 ・シジュウカラの特徴の一つである通称「ネクタイ」が太い雄がいたが、他のシジュウカラとともによく囀っていた。 ・シロハラが落ち葉の積もった所を行ったり来たりしていた。 ・エナガが1羽、高い枝先にとまっていて群れてはいなかった。 ・イロハモミジの花が咲いていたので観察した。
芝生広場 散策路①～③ 東屋 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・梢でさえずるメジロを観察し、ヒヨドリの声や姿を確認する。 ・鳥の姿は見られなかったが、ヤブツバキの花の蜜を調べた。 ・休憩とともに周辺の植物（キランソウ、タケニグサ）を観察する。 ・鳥合わせをする。(14種類を確認) コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス(声)、エナガ、メジロ、シロハラ、アトリ、カワラヒワ(声)、ウソ、イカル(声)、ホオジロ
12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート依頼、解散。